

## 〔長久手町業務評価票：平成 19 年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□ 2 節 □ 7 項	予防体制の充実強化
担当課・係名	総務課 予防係【問合せ・質問等の先（内線番号） 4 2 番】			

業務の名称	消防用設備等設置指導業務				
(1) 根拠法令・条例	消防法第 17 条、長久手町火災予防条例、長久手町美しいまちづくり条例施行規則第 2 条 開発協議指導細則（消防施設等に関する基準）				
(2) 当該業務量 （延人員規模含む）	総業務量の <u>18</u> %（係の総業務量を 100%とする） 職員延人数：163人・日（臨時雇用者延人数：__人・日）				
(3) 事業費 （人件費分を除く）	_____千円（平成19年度決算（細目・細々目の実績から抽出・算定する）				
(4) 補助率（補助金がある場合のみ記載）	_____ %（平成19年度実績）				
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了（予定）年度	年度	
(6) 業務の概要（簡潔に箇条書きで記載）					
①業務目的（達成目標）	消防法第 17 条に基づき設置指導を行う。 長久手町火災予防条例及び消防施設に関する基準に基づき設置指導を行う。				
②業務が対象とする住民（地域、層）	① 建築主 ② 消防設備士				
③業務の具体的な実施内容・方法（平成19年度実績）	① 工事整備対象設備等着工届書の審査 ② 消防用設備等設置届出書の審査 ③ 防火対象物の完了検査				
④業務の実施結果（平成19年度実績）	政令で定める技術上の基準に従い設置指導を行った。				
	【業務結果の説明指標】				
	結果の説明指標	17年度実績	18年度実績	19年度実績	将来目標
	1 工事整備対象設備等着工届書の審査	84	87	110	
	2 消防用設備等設置届出書の審査	36	71	75	
	3 防火対象物の完了検査	39	64	56	
	4				
	5				
⑤業務の成果（業務目的の達成状況）（平成19年度実績）	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】				
	成果の説明指標	17年度実績	18年度実績	19年度実績	将来目標
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
① 改正法令に伴う消防用設備の設置の徹底。 ② 違反対象物に対する消防用設備設置の徹底。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
① 改正法令に伴う消防用設備の設置説明を実施し改善を行った。

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3. 0 点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ④. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	違反対象物に対する改善の促進。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
法的制度を活用し、効果的な実施を検討する必要がある。